



小川の岸付近で家族を捜している人がいました



忘れないで!

家族の死を乗り越えて頑張っている職員がいる事を



しばた協同クリニック組織部の太田真理さんは、甚大な津波の被害を受けた宮城県山元町の出身。組合員さんの安否が何より心配です。

被災地を案内してもらいましたが、同級生の家が崩壊したりしていました。「この場所に保育園があったのですが、津波の被害を受けました。大人である先生のご遺体は見つかったのですが、子どもさんのご遺体はまだ見つかりません。」と話してくれました。私たち職員にもご家族を亡くされた方が何人もいます。それでも職場で頑張っておられます。

(2011年3月31日 宮城県山元町山下地区

撮影 宮城民医連 神馬 悟)



常磐線山下駅付近の貨物列車、どこまでも続くはずの線路は見えずコンテナが散乱していた。

